

2016年度事業計画

自 2016年 4月 1 日

至 2017年 3月31 日

公益目的事業

視能障害防止および眼保健衛生の普及・啓発を図ることによって国民の健康維持向上に寄与することを目的とした健診・調査・広報・出版・災害時支援事業と、視能に関する学問・技術の発展と優れた人材育成を図ることによって臨床現場で質の高い医療を提供することを目的とした学会・講習研修・教育事業

【1】国民への眼保健衛生の普及・向上に関する事業

1. 健診に関する調査・支援事業（以下、健診事業）

- (1) 新生児から成人に至るまでの視覚発達に関する情報をインターネットホームページに掲載する。
- (2) 視覚感受性期にある乳幼児を対象とした「目の健康チェックシート」をインターネットホームページに引き続き掲載（ダウンロード可能）するとともに、当該文書を各市区町村医療センターへ配布し、乳幼児期に発見し治療すべき疾患への注意を促す。
- (3) 三歳児健康診査での眼科検査方法を解説した「三歳児眼科健診マニュアル」をインターネットホームページに引き続き掲載し（ダウンロード可能）、検査技術及び精度の地域格差を改善する。
- (4) 成人以降に発症する眼疾患への注意を促すための成人版「目の健康チェックシート」として「あなたの目、本当に大丈夫ですか？」をインターネットホームページに引き続き掲載（ダウンロード可能）するとともに、リーフレットを活用し、国民に眼保健衛生の重要性を伝える取り組みを行う。

2. 広報事業

- (1) インターネットホームページ等を通じて社会へ眼保健衛生の啓発と推進を行う。
- (2) インターネットホームページに倫理規程を公示し、視能訓練士の職業倫理の高揚と業務への責任を喚起する活動を行う。
- (3) 協会ポスターとリーフレットを会員や関連諸団体へ配布して「視能訓練士」の名称および職務を国民に向けて広報する。
- (4) 全国で開催される「目の愛護デー」関連事業へ参加協力し、眼保健衛生の普及・向上に努める。特に東京都においては、東京都眼科医会が主催するTokyo Eye Festivalに参加し、視能に関するトピックスを来場者に紹介することを通じて、視能訓練士がQuality of visual lifeに果たす役割を広くアピールする。

2016年 10月9日（日）・10日（月・祝）：新宿西口イベント広場

- (5) 東京都看護協会がナイチンゲール生誕記念事業として主催する「看護フェスタ」へ参加し、来場者の視力検査を行い、眼疾患を啓発するパンフレットおよび視能訓練士に関するリーフレットを配布する。

2016年 5月14日（土）：新宿西口イベント広場

- (6) 中学生・高校生に対しては積極的に視能訓練士の職務を紹介し、視能矯正学を学ぶ学生に対しては本協会の事業を紹介するJACOメイト制度を活用し、早期から本職や本協会への興味や理解を促す。
- (7) 他団体の職業紹介関連事業を通じて中学生・高校生に向けた視能訓練士の職業紹介をする。また視

能訓練士の職業紹介の動画作成準備を行う。

(8) インターネットホームページの拡充を行う。

3. 調査事業

(1) 視能矯正・訓練普及の実態調査を行う。

(2) 視能の病態および視能矯正の実態調査を行う。

(3) 5年毎に行う視能訓練士に関するアンケート調査および実態調査報告書の発行に向けた準備を行う
(次回は2020年実施予定)。

(4) 新規免許取得者の就業状況調査を行い、就業傾向を把握する。

(5) 日本視能訓練士協会定款施行規則を検討し、必要に応じて改定する。

4. 渉外事業

(1) 国内関係諸団体との相互の協力について交流を密にする。

1) 監督官庁（内閣府）及び関係官庁（厚生労働省・文部科学省）へ、協会の現況について連絡交流を図る。

2) 研究諸団体（日本眼科医会・日本眼科学会・日本弱視斜視学会・日本眼光学学会・日本小児眼科学会・日本ロービジョン学会・日本視野学会等）と学術・技能向上の為の提携交流を図る。

3) 医療研修推進財団・国際医療技術財団・医療技術者21団体協議会・東京都医療従事者ネットワーク連絡会等に参加し、医療技術者団体間での交流を図り、医療技術者の相互理解を深める。

4) 国民医療推進協議会へ参加し、参加団体と協力して国民皆保険制度を守る活動を行う。

5) チーム医療推進協議会へ参加し、医療技術者団体間の連携を深め、医療技術者の社会的地位向上に向けた活動を行う。

(2) 国外の視能矯正学分野に関係する団体と交流し、知識・技術の提携を行う。

1) 国際視能矯正協会代表者会議及び年次総会に出席する。

国際視能矯正協会 (IOA) 理事会 2016年 6月24日～6月26日：

年次総会 2016年 6月29日 オランダ ロッテルダム

第13回国際視能矯正学会 2016年6月27日～6月30日 オランダ ロッテルダム

2) アジアの友好国（フィリピン、タイ、カンボジア、モンゴル、シンガポール等）との関係を深め、技術提携のための実態調査を行う。

2016年8月～9月：モンゴル（予定）

5. 出版事業

(1) 日本視能訓練士協会誌（学術論文集、第45巻）を雑誌として発刊し、電子ジャーナル（J-STAGE）を公開する。

(2) 日本視能訓練士協会会報（第127号、第128号）を2016年10月と2017年3月に発行する。

6. 災害時支援事業

(1) 東日本大震災を契機に発足した眼科医療活動「プロジェクト・ビジョンバン」へ参加協力し、今後起こりうる災害を想定し、被災者を対象とした眼科検診を検査面から支援する。

(2) 首都圏で大規模災害が発生した時にも公益目的事業を遂行できるような事務局環境整備を行う。

【2】国民に良質で安全な医療技術を提供するための視能訓練士教育事業

1. 学会事業

- (1) 日本視能矯正学会を開催し、次年度以降の学会開催準備を行う。
 - 1) 第57回日本視能矯正学会準備及び開催
会期：2016年10月15日（土）～16日（日）
会場：大阪国際会議場 グランキューブ大阪
学会長：松本富美子（近畿大学医学部堺病院）
名誉会長：日下俊次（近畿大学医学部堺病院）
テーマ 「光で始まる眼の進化，そして立体視へ」
 - 2) 第58回（2017年）学会準備
2017年10月28日（土）・29日（日）：仙台国際センター
学会長：小野 峰子（東北文化学園大学）
名誉会長：浅野 浩一（東北文化学園大学）
 - 3) 第59回（2018年）学会開催準備
2018年秋開催予定
学会長：大沼 学（総合新川橋病院）
- (2) 日本臨床眼科学会視能訓練士プログラムを開催し、次年度の開催準備を行う。
 - 1) 第70回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催
2016年11月3日（木）～6日（日）
会場： 国立京都国際会館、グランドプリンスホテル京都
テーマ：「こんなときどうする？内斜視の検査と経過観察」
 - 2) 第71回日本臨床眼科学会視能訓練士プログラム開催準備
2017年10月12日（木）～15日（日）
会場：東京国際フォーラム
テーマ：未定
- (3) 第70回日本臨床眼科学会インストラクションコースに「斜視の視能訓練」をテーマとしたプログラムを企画し、開催準備を行う。

2. 講習研修事業

- (1) 講演会を開催し、次年度の開催準備を行う。
 - 1) 第32回開催 2016年6月5日（日）：大阪商工会議所（大阪）
講演内容：「自動視野計における視覚障害評価の考え方」
演 者：鈴木弘隆（すずむら眼科）
 - 2) 第33回開催準備 2017年6月4日（日）：日本消防会館（東京）
- (2) 研修会を開催し、次年度の開催準備を行う。
 - 1) 第15回研修会開催 2016年6月5日（日）：（大阪）第32回講演会と併催
研修内容：「色覚異常の診断と今後のあり方」
 - 2) 第16回研修会開催準備 2017年6月4日（日）：（東京）第33回講演会と併催
- (3) 光学と眼鏡に関する研修会を後援し、次年度の開催準備に協力する。
2016年 8月6日（土）・7日（日） 眼光学チュートリアルセミナー
- (4) 視能訓練士のためのロービジョンに関する講習会を日本ロービジョン学会と共催し、次年度の開催準備を行う。

2016年10月9日（日）・10日（月） きたのホール（北野病院5階 大阪市）

3. 教育事業

(1) 視能訓練士生涯教育制度の各教育プログラムを実施する。

1) 新人教育プログラム

講義日程

2016年 7月 17日(日)・18日(月・祝)	CIVI研修センター秋葉原（東京）
2016年 9月 18日(日)・19日(月・祝)	大阪商工会議所（大阪）

技術日程ブロック単位開催

北海道ブロック

8月28日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	吉田学園医療歯科専門学校
9月11日(日) 視野検査	吉田学園医療歯科専門学校
10月 2日(日) 視力・屈折検査	吉田学園医療歯科専門学校

東北ブロック

10月30日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	東北文化学園大学
11月13日(日) 視力・屈折検査	東北文化学園大学
12月 4日(日) 視野検査	東北文化学園大学

関東甲信越ブロック

8月 7日(日) 視力・屈折検査	帝京大学医療技術学部
9月25日(日) 視野検査	帝京大学医療技術学部
2017年 1月22日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	帝京大学医療技術学部

東京ブロック

8月 7日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	帝京大学医療技術部
9月25日(日) 視力検査・屈折検査	帝京大学医療技術部
2017年 1月22日(日) 視野検査	帝京大学医療技術部

東海・北陸ブロック

9月24日(土) 視野検査	愛知淑徳大学
9月25日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	愛知淑徳大学
10月23日(日) 視力・屈折検査	愛知淑徳大学

近畿ブロック

6月12日(日) 視野検査	神戸総合医療専門学校
7月 3日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	大阪医療福祉専門学校
8月21日(日) 視力・屈折検査	関西医科大学附属枚方病院

中四国ブロック

6月19日(日) 視力・屈折検査	川崎医療福祉大学
10月23日(日) 視野検査	川崎医療福祉大学
2017年 3月 5日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	川崎医療福祉大学

九州ブロック

10月 2日(日) 両眼視・眼位・眼球運動検査	熊本大学医学部山崎記念館
2017年 3月19日(日) 視力・屈折検査	大分視能訓練士専門学校
2017年 3月20日(月・祝) 視野検査	大分視能訓練士専門学校

2) 基礎教育プログラム

基礎教育プログラムⅠ 開催

2016年 7月 16日(土)・17日(日)・18日(月・祝) CIVI研修センター秋葉原(東京)

2016年 9月 17日(土)・18日(日)・19日(月・祝) 大阪商工会議所(大阪)

基礎教育プログラムⅢ 開催

2016年 11月19日(土) 視能矯正学 11月20日(日) 視能障害学

機械振興会館(東京)

2017年 2月18日(土) 視能矯正学 2月 19日(日) 視能障害学

CIVI研修センター新大阪東(大阪)

3) 専門教育プログラム

専門教育プログラムの実施に向けた準備を行う。

- (2) 公益財団法人医療研修推進財団が主催する実習施設指導者等養成講習会を後援する

7月16日(土)・17日(日)・18日(月・祝) 機械振興会館(東京)

- (3) 施設見学研修を行う。

実習施設指導者等養成講習会修了者(全修了者)が勤務する施設で、2016年9月から2017年3月の間、希望者に対して施設の見学および研修を行う。

- (4) 「眼科スタッフビデオ」シリーズのDVDを希望者に貸し出し、技術研修に役立てる。

その他の事業(相互扶助等事業)

視能訓練士の資質向上を目的とした自己研鑽を奨励し、学術技能を評価して認定および表彰する事業

1. 認定視能訓練士に関する事業

- (1) 視能訓練士生涯教育制度基礎教育プログラムを修了し、所定の条件を満たす者を「認定視能訓練士」と認定し、以後5年ごとに認定更新を行う。

- (2) 専任教員認定制度の認定条件を満たす者を「認定専任教員」と認定し、以後5年ごとの認定更新を行う。

2. 学術奨励賞に関する事業

- (1) 該当論文を選出し、第6回学術奨励賞を授与する。

2016年度に発行予定の日本視能訓練士協会誌第45巻に投稿された学術論文の、対象論文から選考し、第57回日本視能矯正学会で学術奨励賞を授与する。

以上